

第19回佐賀県総合教育会議

議 題

<報告事項>
校則と指導（第15回テーマ）について

<意見交換>
令和3年度の重点的な取組について



さがデザイン
さがをかえる しくみをかえる

令和3年3月24日

報告事項

<テーマ>

◎校則と指導（第15回テーマ）について

これまでの対応状況（経過）

【第15回総合教育会議での意見交換（校則と指導）】 令和元年11月25日

【県立学校への通知】 令和2年3月17日

- ・見直しの視点（5つ）、具体例示す。
- ・合意形成の方法（生徒アンケート、生徒総会、PTA会議、学校評議員会など）示す。

【進捗状況の確認】 令和2年8月

- ・県立学校 25校見直し、検討中25校／ 51校中
- ・見直しの視点を十分に踏まえたものではなかった。
 - （制服の男、女の表記の変更
 - 校外での活動（旅行、キャンプ等）の届出の撤廃）等やや消極的な変更

【県立学校へ再度の見直し通知】 令和2年11月26日

- ・再度、見直しの視点を踏まえた見直しを。→ 年度末に提出を求める

新校則の提出 令和3年2月末

【確認】 ・人権を保障したものであること ・合意形成の具体的な方法 など

全県立学校で実施

校則の見直しの状況

見直しの視点	見直し前	見直し後
①人権を保障したもの	制服の男女別表記 下着は白色を着用 地毛（赤毛、縮毛）申請 肌色のストッキング	→ 制服A、制服B など → 削除 → 削除 → ベージュ色のストッキング
②社会通念上合理的と認められる	日傘の使用禁止 制服の移行期間廃止	→ 削除 → 寒暖に合わせて指示
③必要最小限の規定	飲酒・喫煙は禁止 目指す生徒像	→ 削除（法律で規制） → 別途示す
④実社会で必要となる規範意識醸成のため	カバンのマスコットは一つまで マフラーはコート着用時のみ許可	→ 削除 → 削除
⑤教育目標の達成のため	化粧の禁止（校内） ピアスなどの装飾品の禁止（校内） パーマ、染色、脱色、特異な髪型の禁止 靴下、セーター等の色の指定（白、黒、紺など） 通学バッグ、サブバッグの指定	

見直すに当たり、必要に応じて生徒・職員・保護者との合意形成を行いました

合意形成の方法

- ・生徒へのアンケート
- ・各クラスで協議
- ・生徒会役員と職員の協議
- ・生徒総会で協議
- ・PTA会議での説明
- ・学校評議員会で協議

<テーマ>

◎令和3年度の重点的な取組について

教育関連予算 知事記者会見項目

さかの未来につなげる

1.8億円

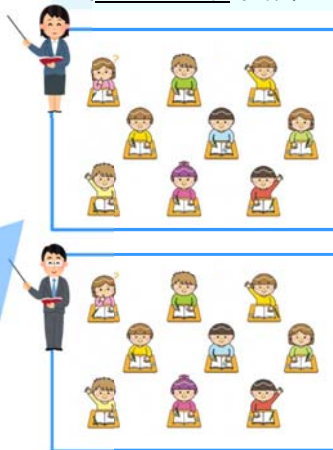
新規 小学校3年生の少人数学級を県独自で実現！

【現状】
 小学校1年生H23～、小学校2年生R3～
 国の制度を活用し少人数学級を実現
 小学校3年生になると40人学級に・・・



教員の配置を増やす

少人数学級を実現
(35人以下学級)



国に先駆け
佐賀県独自に実施



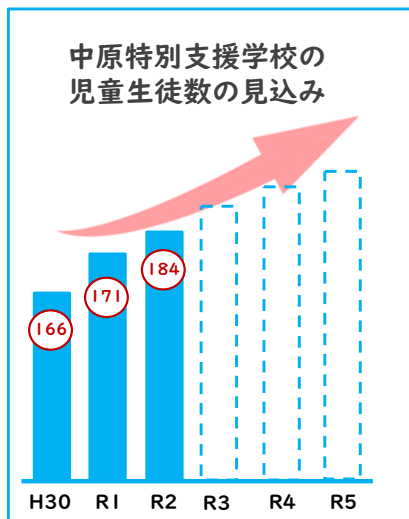
- 一人ひとりに寄り添ったきめ細かな指導
- 落ち着いた学校生活

夢や目標に向かっていく
子供たちの“志”を応援！

人の想いに寄り添う

1.2億円

新規 中原特別支援学校の教室を増設し、東部地域の教育環境を改善 ～ 支援が必要な子どもたちに寄り添い、きめ細やかな教育を実現 ～



きめ細やかな
教育に向けて
しっかりと
対応

中原特別支援学校本校



10教室
増設

鳥栖田代分校



3教室
増設

佐賀の子どもたちの未来のために

約24.3億円

全国でも一早く、私立高校に1人1台端末 (私学版・プロジェクトE)



県立高校とあわせ、全県下で
1人1台端末を実現

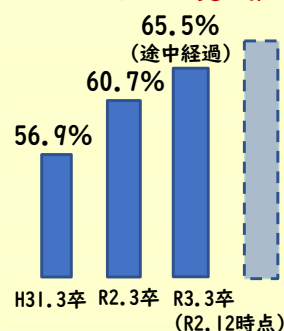


“ものづくり県”佐賀の実践的人材育成



工業・商業・農業など専門高校の
設備をデジタル化・新規導入

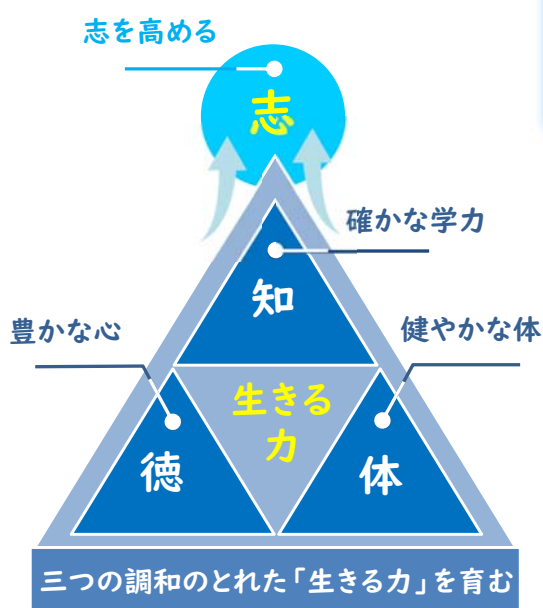
プロジェクト65を更に推進!



教育委員会の取組

佐賀県教育委員会

令和3年度重点的取組



児童生徒が高い志をもって未来に
挑戦できる教育を目指します！

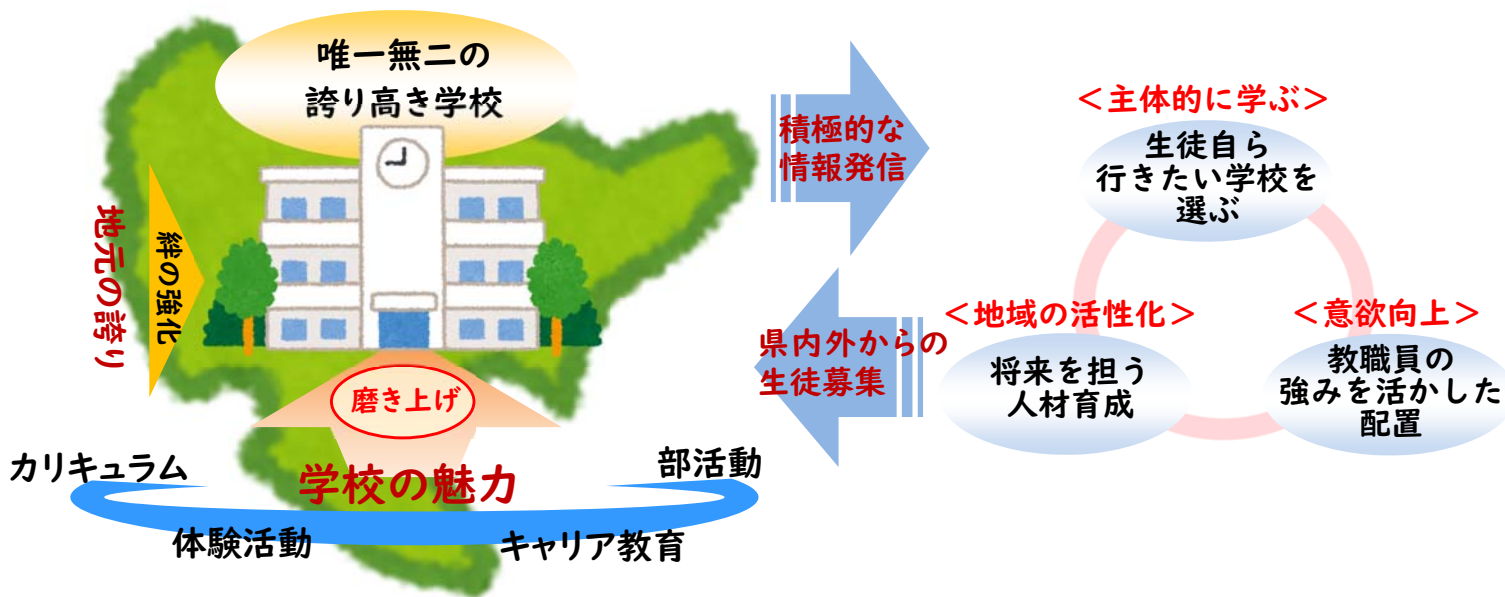
重点プロジェクト

～教育が直面する重要課題に正面から取り組む～

- 1 唯一無二の誇り高き学校づくりプロジェクト
- 2 プロジェクトE +(プラス)
- 3 部活動改革プロジェクト

1 唯一無二の誇り高い学校づくりプロジェクト

～学校の強みと魅力を打ち出して、唯一無二の誇り高い学校をつくる～



1 唯一無二の誇り高い学校づくりプロジェクト

～主な取組～

単位:千円

事業名	事業内容	予算額
SAGAハイスクールプロモーション事業	・中学生や保護者が、魅力ある県内の高校の姿を具体的にイメージできるように、広報や情報発信を強化します。	12,302
地域とつながる高校魅力づくりプロジェクト事業	・県立高校と市町等が協働し、地域活性化に資する取組などを行うことにより、魅力と活力ある高校づくりを推進します。	11,548
SAGAマイスターハイスクールプロジェクト事業	・工業系高校において、ロボット技術に関する指導力強化を図り、デジタル化に対応した産業教育を推進します。	4,319
未来SAGA産業人材育成プロジェクト事業	・佐賀県で働く魅力を生徒に伝える取組や、学校と県内企業との関係づくりを行うことで、県内就職を支援します。	77,390

〈 〉予算額には会計年度任用職員に係る給与費を含む

2 プロジェクトEプラス

～教育や学校運営のデジタル化で
新しい価値を生み出す子どもを育てる！～

授業改善
～学びが変わる～

対面指導とオンライン教育の融合



様々な場面を想定し、個別最適化された学びを提供



小・中・高
継続した教育で
英語力強化

市町教育委員会の
GIGAスクール構想を
全面バックアップ



県立学校のネットワーク
環境の高度化を推進

教育活動のオンライン
～教育活動が変わる～

行事、研修等のオンライン化推進



コロナ禍でも、様々な工夫をして
教育活動を継続

2 プロジェクトEプラス

～主な取組～

単位:千円

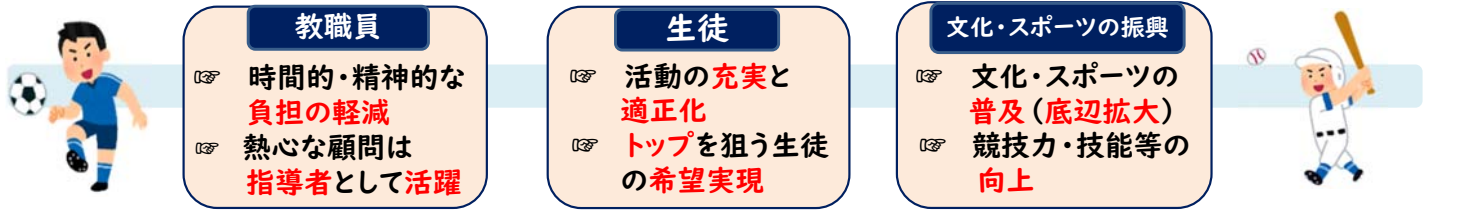
事業名	事業内容	予算額
オンライン教育環境整備事業	・オンライン研修や面接のための環境整備を行います。 ・オンライン授業推進のための支援員を配置します。	13,474
市町展開サポート事業	・市町への技術的助言や情報提供の体制整備を行います。	1,936
GIGAスクール構想支援事業	・エリアコーディネーターを配置し、市町立学校の支援強化を図ります。	922
小・中・高を通じた英語教育強化事業	・佐賀県独自の英語指導目標の統一基準を作ります。 ・英語学習用デジタル教材を作成し、小・中・高を通じた指導法改善のための研究を行います。	15,339
校内LAN整備費	・学校内のネットワーク環境を高度化し、学習環境や校務の利便性向上を図ります。	30,778

〈 〉予算額には会計年度任用職員に係る給与費を含む

3. 部活動改革プロジェクト

～ 学校と地域の連携で部活動改革を推進する! ～

部活動の課題



改革の方向性



- ・ 学校や公共施設をフル活用
- ・ 小規模校や未普及種目の活性化
- ・ 部活動に熱心な教職員や外部指導者の活動促進
- ・ 魅力あふれる大会のあり方

3. 部活動改革プロジェクト

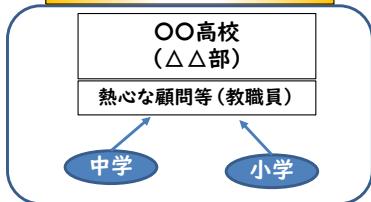
高校スタイル

- 部活動の地域クラブ化(小～社会人)
- ➡ 学校部活動拠点型、地域拠点型 など

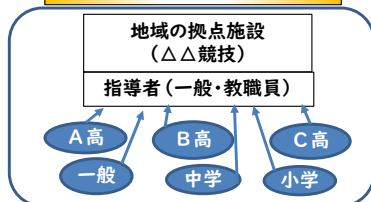
中学校スタイル

- 学校(平日) 地域(休日) 連携型
- 合同部活動(拠点校型&拠点施設型) など

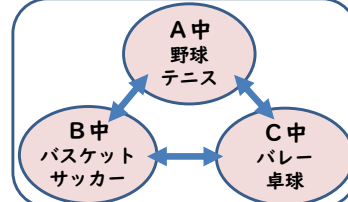
学校部活動拠点型



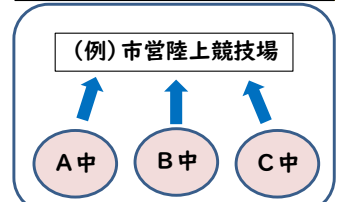
地域拠点型



拠点校型合同部活動



拠点施設型合同部活動



～主な取組～

事業名	事業内容	予算額
部活動改革推進プロジェクト事業費	・部活動の現状や課題の分析を行うとともに、部活動に関するあり方を検討します。また地域と連携した部活動のモデル事業を行います。	3,543
特定スポーツ指導体制強化	・SSP構想の実現に向け、高校における選手育成体制の強化を図る。	トップコーチ12人配置

地域とつながる高校魅力づくりプロジェクトの主な取組・成果

白石高等学校

- ・佐賀大学と連携した
防災フィールドワーク
- ・大町町こども・あそび
マルシェ2020
- ・小中学校連携「白石アスリート
陸上練習会」



専門スタッフの配置

門田芳彦 さん

コーディネーター

- 3町、小中学校等との連絡調整、地域資源の把握、プロジェクトの企画調整

積極的な地域のニーズの掘り起こしにより、より多くの分野での取組が可能に

地域と高校をつなぐキーパーソン（各校協議会委員）

神埼高等学校

- ・神埼市内
フィールドワーク
- ・神埼魅力アップ・アクション
プランの提案、実行



吉原俊樹 さん

CSOかんざき神幸館副理事長
佐賀県地域づくりネットワーク協議会会長

- 指導助言、フィールドワークの共同企画運営

伊万里高等学校

- ・#キセキ部
トーク（地域活性化を考える選択授業）
ラジオ（地域のお店の紹介など）



いわたてただすけ さん

まちの大学伊万里代表、移住者

- 「#キセキ部」の総合プロデュース

18

有田工業高等学校

- ・うちやま百貨店への出店



地域と高校をつなぐキーパーソン（各校協議会委員）

佐々木元康 さん

NPO法人灯す屋代表、ローカリスト

- プロジェクトの支援

嬉野高等学校

- ・小学校での
ユニバーサルデザイン
出前講座



北川健太 さん

大村屋代表取締役、ローカリスト

- 講演、意見交換会への参加

- 地域との関係強化・教育内容の改善
- 生徒の意欲向上（自己肯定感・自己有用感の醸成）や地域への理解・愛着の深まり

・生徒の自己肯定感が高まった

・地元の人が高校の活動を知る機会ができた

令和3年度の取組

- 指定校（8校）の取組を継続
- 唯一無二の特色・魅力ある学校づくりを推進するため他校へ展開

令和3年度の事業の成果を令和4年度以降の取組に反映 地域との連携・協働した取組を継続

19

スマート実践教育プロジェクト

～県内産業界の状況に即した**実践的教育**を推進～

ものづくり県 佐賀

技術革新

先端技術導入

学校の現状

手作業の機械…
古い機械…
壊れかけの機械…

- ・先端技術を学べない
- ・時代に即していない
- ・たびたび壊れる機械では授業にならない

工業系高校では



+



基本技術取得に加えて、
数値制御による自動化技術を学ぶ

農業系高校では

統合環境制御装置



IoTを活用した温度等の
自動管理によりスマート農業を实践



各高校の情報処理端末を
最新機器に一新

介護系高校では



古い器具を更新し、
現場に即した
実習を実施

これまでにな**い集中投資**で、**未来の佐賀**を担う**子供たち**を**応援**します